

## トリビア「ボーイズ・ビー・アンビシャス」

北海道札幌市のおすすめの観光名所として必ず挙がるスポットに、さっぽろ羊ヶ丘展望台があります。ここには、有名な銅像が立っています。「丘の上のクラーク像」です。北海道開拓の父と言われるウィリアム・スミス・クラーク博士(1826-1886)の全身像です。元々は、北海道大学の構内にある胸像だけでしたが、訪れる観光客が年々増加したため、クラーク博士来道100周年とアメリカ合衆国建国200周年の1976年、現在の場所に新しく設置されました。

クラーク博士は、マサチューセッツ農科大学で教鞭をとっていたとき、日本から留学していた、後の同志社大学創始者、新島襄と出会います。「日本の学生に教えに来てほしい」という、新島の熱烈な声と、日本政府からの要請を受け、1876年(明治9年)に1年間の休暇を利用して来日し、札幌農学校(現在の北海道大学)教頭に就任しました。そして、全人的なカリキュラムに沿って、新しい日本に必要な人材の育成がなされていきました。その中で、聖書に基づいた教育が行われたと言われていいます。

やがて、日本を離れる日、博士は、生徒たちに有名なこの言葉を語りました、「ボーイズ・ビー・アンビシャス(少年よ、大志を抱け)」。諸説ありますが、実は、この後に「イン・クライスト(キリストにあつて)」という一句が続いていたと言われていいます。私たちは、神様によって創られた存在です。神様によって生かされ、神様からたくさんのもので与えていただいています。そんな私たちが、高い志を掲げて、神様にも他の人にも喜んでいただけるような、価値のある生き方を送るためには、キリストを信じるのが土台とならなければならない、という博士のメッセージが込められています。



今の時代、自分らしく生きることが賞賛される風潮にあります。けれども、キリストにあつて生きていく人こそが、本当に自分らしく生き、豊かな実りある人生を送ることができます。「ボーイズ・ビー・アンビシャス・イン・クライスト」の言葉は、今も私たちにそう語りかけているのではないのでしょうか。

### 教会のひとこま 教会の庭の花も季節ごとに咲いて、見る者たちを楽しませてくれます。



## 宝塚栄光教会 牧師：岩間 洋

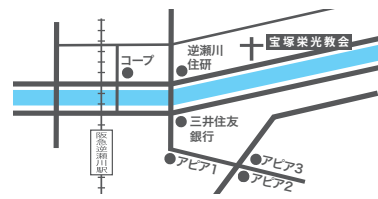
〒665-0021 宝塚市中州1-15-9 TEL:0797-73-6076

E-mail: info@takara-eikou.com https://www.takara-eikou.com

礼拝 毎週日曜日  
10:30~11:40

希望のダイヤル(聖書のお話)  
0797-77-3746  
毎週更新。24時間つながります。  
ホームページからも利用できます。

インター  
ネットでも  
配信中



## 神のことばによって生きる

私たちは、毎日食事をいただきます。日々の糧が与えられていることは感謝すべきことです。世界には多くの飢えた人々がいるのですから。

しかし、ここで少し立ち止まって考えてみませんか。食べる物が不足なくあれば、それで幸福でしょうか。幼い子どものいのちが、いとも簡単に奪われるという痛ましい事件があつてを絶ちません。物質的には十分恵まれていながら、人が狂気としか言いようのない行動に出るのは、一体どうしたことでしょうか。大切なものが欠けているのです。神の言葉によって与えられる真のいのちです。

キリストが荒野でサタンに試みられた時に言われた言葉は、よく知られています。「人はパンだけで生きるのではなく、神の口から出る一つ一つのことばによる。」(マタイの福音書4章4節)

私たちが本当の意味で生かすのは、口からおなかに入る食物ではなく、魂に入る神の言葉です。神の言葉とは、聖書に書かれている言葉であり、また教会の礼拝などで牧師によって語られる聖書のお話です。その神の

言葉によって、自分の罪がわかり、キリストの十字架による救いがわかります。そして、信じて罪から救われ、内に永遠のいのちが与えられるのです。

罪とは反社会的な犯罪のことだけではありません。私たち全ての人間が内に持っている、神のことは二の次、三の次で、自分のことを最優先させたいという生き方のことです。この罪を持ったままでは、私たちは永遠に滅びます。

そのような私たちが、滅びないようにと、神はご自分のひとり子キリストを十字架におかけになりました。キリストは私たちの身代わりに十字架で死なれました。私たちが、自分の罪を悔い改め、キリストの十字架を信じるなら、どんな罪も赦され、私たちは救われます。そして、永遠のいのちをいただいて、神の言葉によって生きる者になります。

あなたは永遠のいのちを持っていますか。神の言葉によって生かされていますか。キリストの十字架の救いをいただいて、真のいのちにあふれる人生を始めませんか。



## イワカガミ ー 岩場で凛と咲く花 ー

イワカガミは 常緑で多年草の高山植物で

山地の岩場や草原に 自生している花である

5枚の花びらの先端が細かく裂けていて まるでピンクのドレスのようで可愛い

高さは10~15cmほどで 花茎の色は濃い紫色である

葉は すべて根のわきから伸び出している

春に新しく出た葉も 冬越しした古い葉も 表面が てかてかと光っている

それが 円形の手鏡を思わせるという イワカガミという名がついたという

イワカガミは ブナの生える低い山から 高山植物で賑わう高い山まで

岩の上はもちろん 林の中や湿原など あちこちに群生する

花は 5月から7月ごろまで 見ることができる

そして秋になると 葉は紅葉していくのだ

イワカガミは日本の固有種で 北海道 本州 四国 九州の全国に分布している

シオンで角笛を吹き わが聖なる山で <sup>とき</sup> 関の声をあげよ

この国に住む者は皆 おののけ 主の日が来る 主の日が近づく

ヨエル2章(聖書)